

2025 年度卒業・修了時満足度調査に関する集計結果

2026 年 6 月
教育推進室

【目次】

I 学部(学士課程)全体

I-1	回答者の特性	1
I-2	科目群ごとの満足度	2
I-3	能力、姿勢、態度	3
I-4	本学の推奨度	4
I-5	大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	5
I-6	教育に関する総合満足度	6

II 大学院全体(大学院修士・博士前期課程、専門職学位課程)

II-1	回答者の特性	7
II-2	能力、姿勢、態度	8
II-3	本学の推奨度	9
II-4	大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	9
II-5	教育に関する総合満足度	10

III 大学院全体(大学院博士後期課程)

III-1	回答者の特性	11
III-2	能力、姿勢、態度	12
III-3	本学の推奨度	13
III-4	大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	13
III-5	教育に関する総合満足度	14

調査実施方法(学部)

○アンケート実施時期 : 2026年3月11日～2026年3月31日

○2026年3月卒業生数 : 1,517人

○有効回収数 : 241票

○回収率 : 15.9%(回収率は、有効回収数/3月卒業生数で計算した)

※本アンケートは、Microsoft Forms により回答を収集した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

I 学部(学士課程)全体

I-1 回答者の特性

- ・ 図1では、回答者の学部別割合では、卒業生の学部別割合と異なるため、全体の傾向としてみるには留意が必要である。
- ・ 図2では、学部別回収率は、工学部が21.3%と最も高い割合となっている。次いで理学部が17.6%、教養学部が17.2%、教育学部が12.1%、最後に経済学部が10.3%となっている。

図1 卒業生・回答者の学部別割合

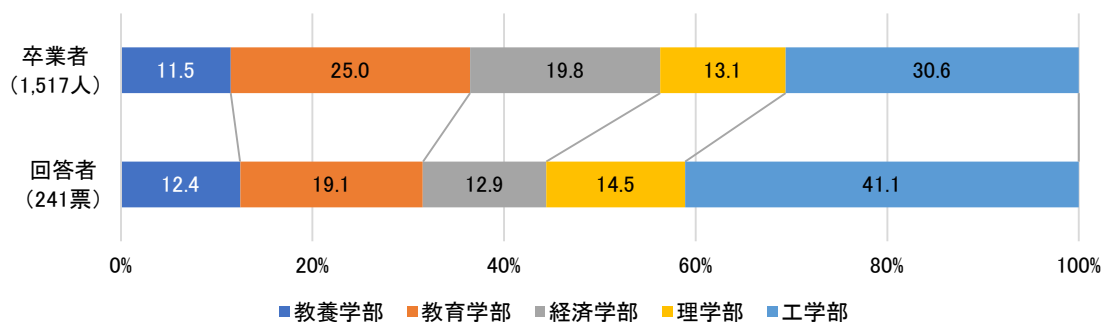
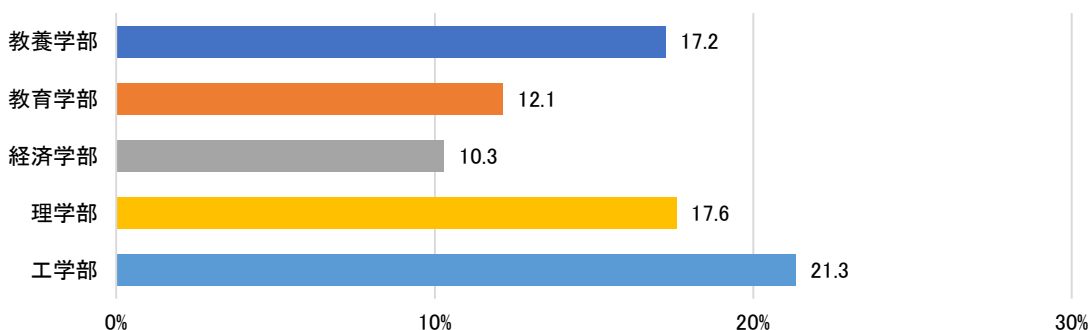


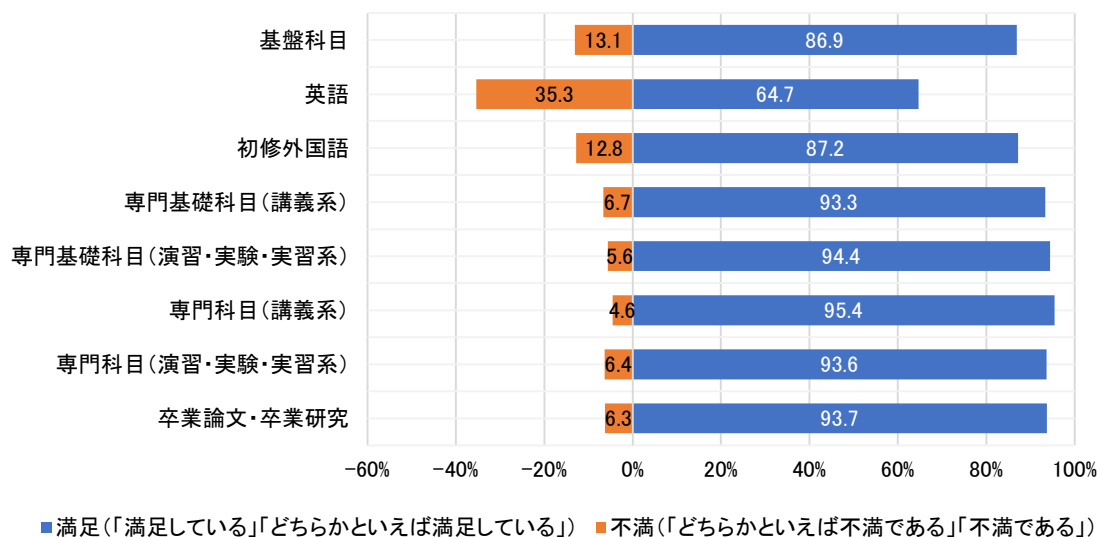
図2 学部別回収率



I-2 科目群ごとの満足度

- ・ 図3では、「専門基礎科目(講義系)」、「専門基礎科目(演習・実験・実習系)」、「専門科目(講義系)」、「専門科目(演習・実験・実習系)」、「卒業論文・卒業研究」の満足度は90%以上と高い。一方、「英語科目」の満足度は64.7%と最も低くなっている。
- ・ 表1では、「専門基礎科目(講義系)」は相関のある項目が最も多い。(7項目/7項目)
- ・ 「基盤科目」の満足度は他科目群との相関が低めとなっている。(1項目/7項目)

図3 科目群ごとの満足度をお聞かせください。【満足度】



※科目群ごとの満足度について、「満足」の回答の割合は横軸の正の値、「不満」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

表1 科目群ごとの満足度の相関

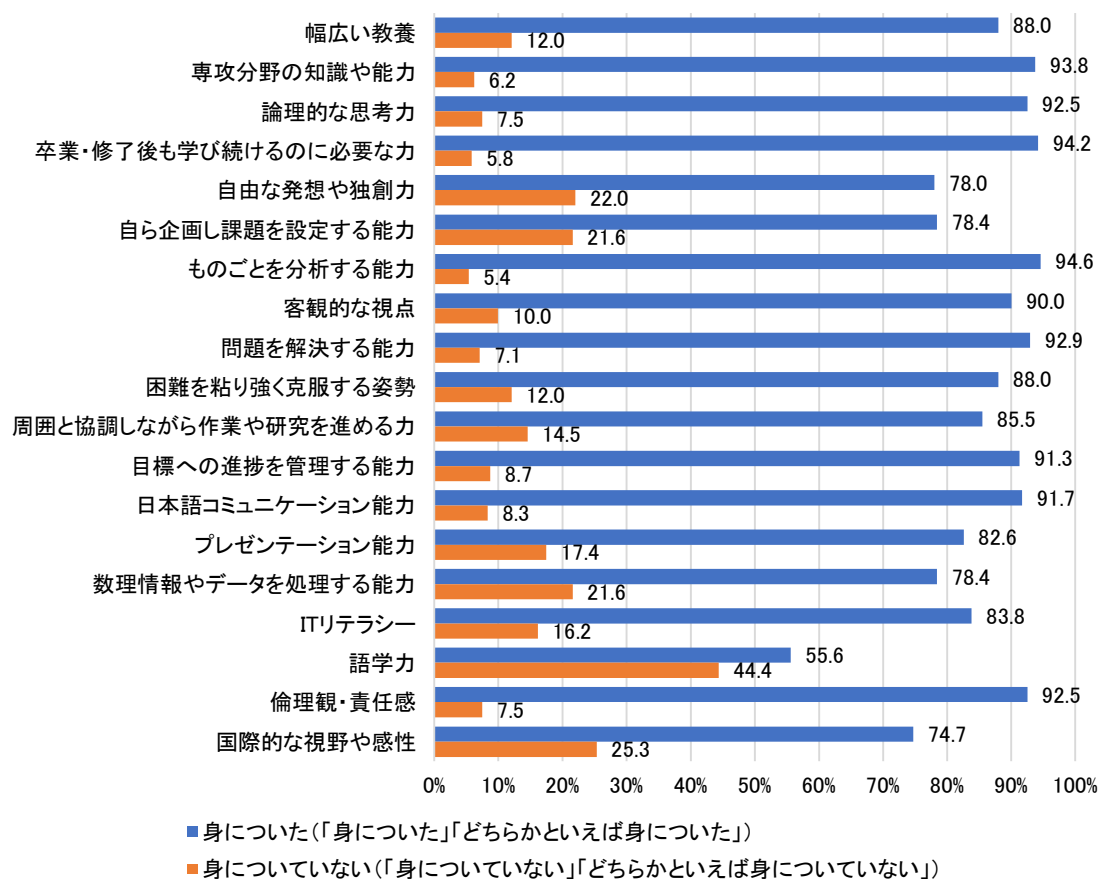
	基盤科目	英語	初修外国語	専門基礎科目		専門科目		卒業論文・卒業研究
				講義系	演習・実験・実習	講義系	演習・実験・実習	
基盤科目								
英語	0.53							
初修外国語	0.49	0.60						
専門基礎科目	講義系	0.31	0.38	0.40				
	演習・実験・実習	0.30	0.30	0.35	0.72			
専門科目	講義系	0.32	0.35	0.45	0.84	0.73		
	演習・実験・実習	0.26	0.18	0.29	0.59	0.77	0.66	
卒業論文・卒業研究	0.13	0.15	0.33	0.42	0.45	0.44	0.44	

■ 0.9以上 非常に強い相関 ■ 0.7~0.9未満 強い相関 ■ 0.5~0.7未満 相関がある □ 0.3~0.5未満 非常に弱い相関 □ 0.3未満 ほぼ無関係

I-3 能力、姿勢、態度

- ・ 9割以上の学生が身についたと回答する項目も多くあったが、特に「ものごとを分析する能力」、「卒業・修了後も学び続けるのに必要な力」、「専攻分野の知識や能力」が身についたと回答している。
- ・ 一方、4割以上の学生が「語学力」があまり身につかなかったと回答している。

図4 以下の能力や姿勢について、埼玉大学での学びを通じてどう感じているか、選択してください。【回答の割合】



※回答の割合は、選択した回答数／全体の回答数で計算した。

I-4 本学の推奨度

- ・ 図5では、本学の推奨度は 90.5%となっている。
- ・ 図6では、図5において「推奨しない」を選択した学生は、「推奨する」を選択した学生より科目群の満足度は全体的に低い。特に「基盤科目」「英語科目」「初修外国語」の満足度では、「推奨しない」を選択した学生と「推奨する」を選択した学生の満足度の差が大きくなっている。また、「推奨しない」を選択した学生は、「英語科目」の満足度が 26.1%とかなり低くなっている。

図5 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

【推奨度】

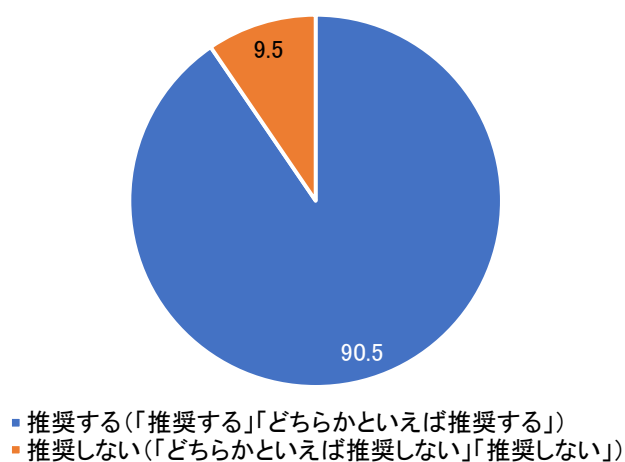
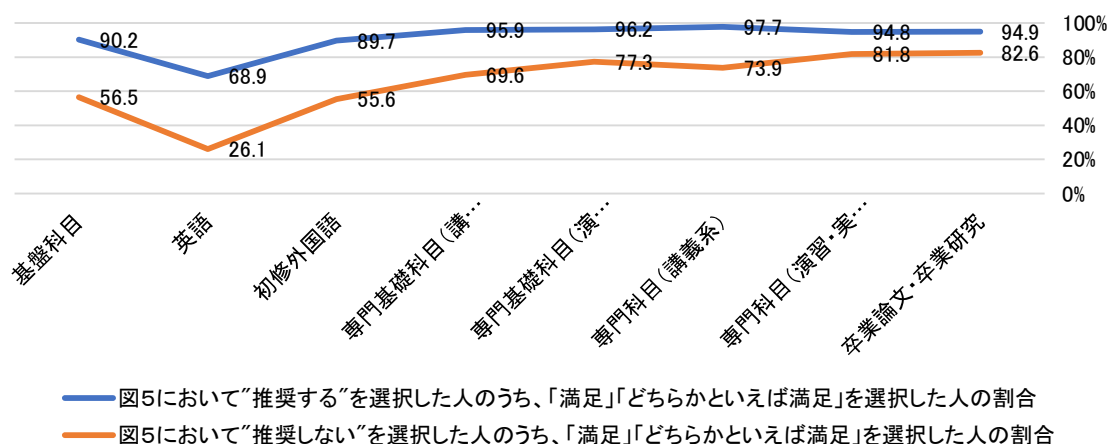


図6 推奨区分別の科目群ごとの満足度



I-5 大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

- ・ 図7では、3つ全ての項目で「身についた」の割合が90%以上となっている。
- ・ 表2では、3つ全ての項目で相関がある。

図7 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】

※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

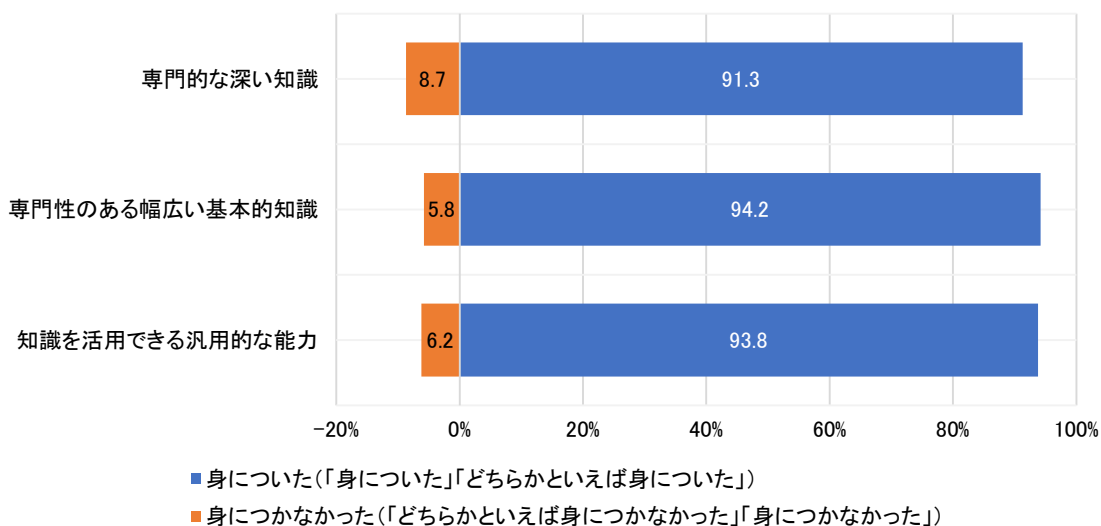


表2 大学全体の DP に関連する項目の相関

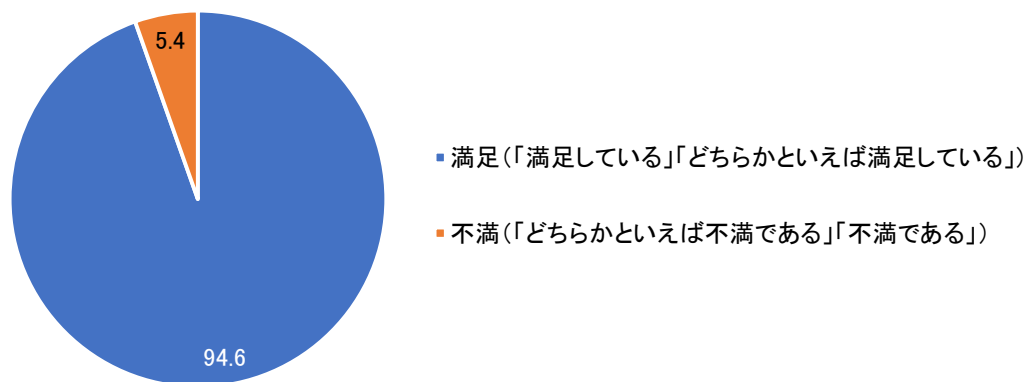
	専門的な深い知識	専門性のある幅広い基本的知識	知識を活用できる汎用的な能力
専門的な深い知識			
専門性のある幅広い基本的知識	0.68		
知識を活用できる汎用的な能力	0.65	0.77	

■ 0.9以上 非常に強い相関 ■ 0.7~0.9未満 強い相関 ■ 0.5~0.7未満 相関がある □ 0.3~0.5未満 非常に弱い相関 □ 0.3未満 ほぼ無関係

I-6 教育に関する総合満足度

・ 図8では、教育に関する総合満足度は 94.6%となっている。

図8 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】



調査実施方法(大学院博士前期課程、専門職学位課程)

- アンケート実施時期 : 2026年3月11日～2026年3月31日
- 2026年3月修了者数 : 598人
- 有効回収数 : 156票
- 回収率 : 26.1%(回収率は、有効回収数/3月修了者数で計算した)

※本アンケートは、Microsoft Forms により回答を収集した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

Ⅱ 大学院全体(博士前期課程、専門職学位課程)

Ⅱ-1 回答者の特性

- ・ 図9では、回答者の課程別割合は、修了者の課程別割合と異なるため、全体の傾向としてみるには留意が必要である。
- ・ 図10では、課程別回収率は、人文社会科学研究科が32.4%と最も高く、教育学研究科が20.0%と最も低くなっている。

図9 修了者・回答者の課程別割合

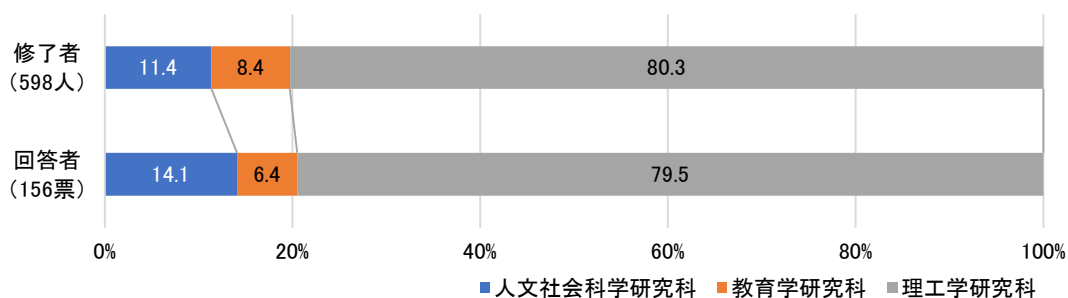
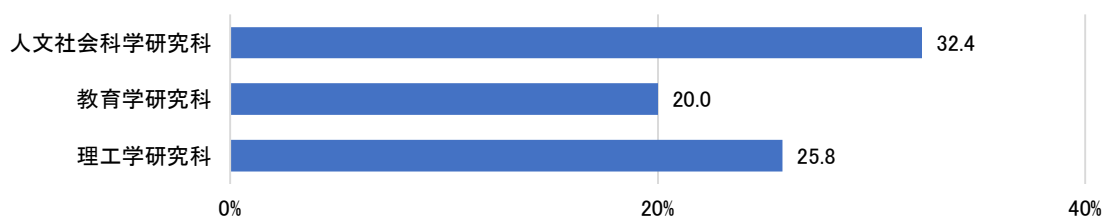


図10 課程別回収率

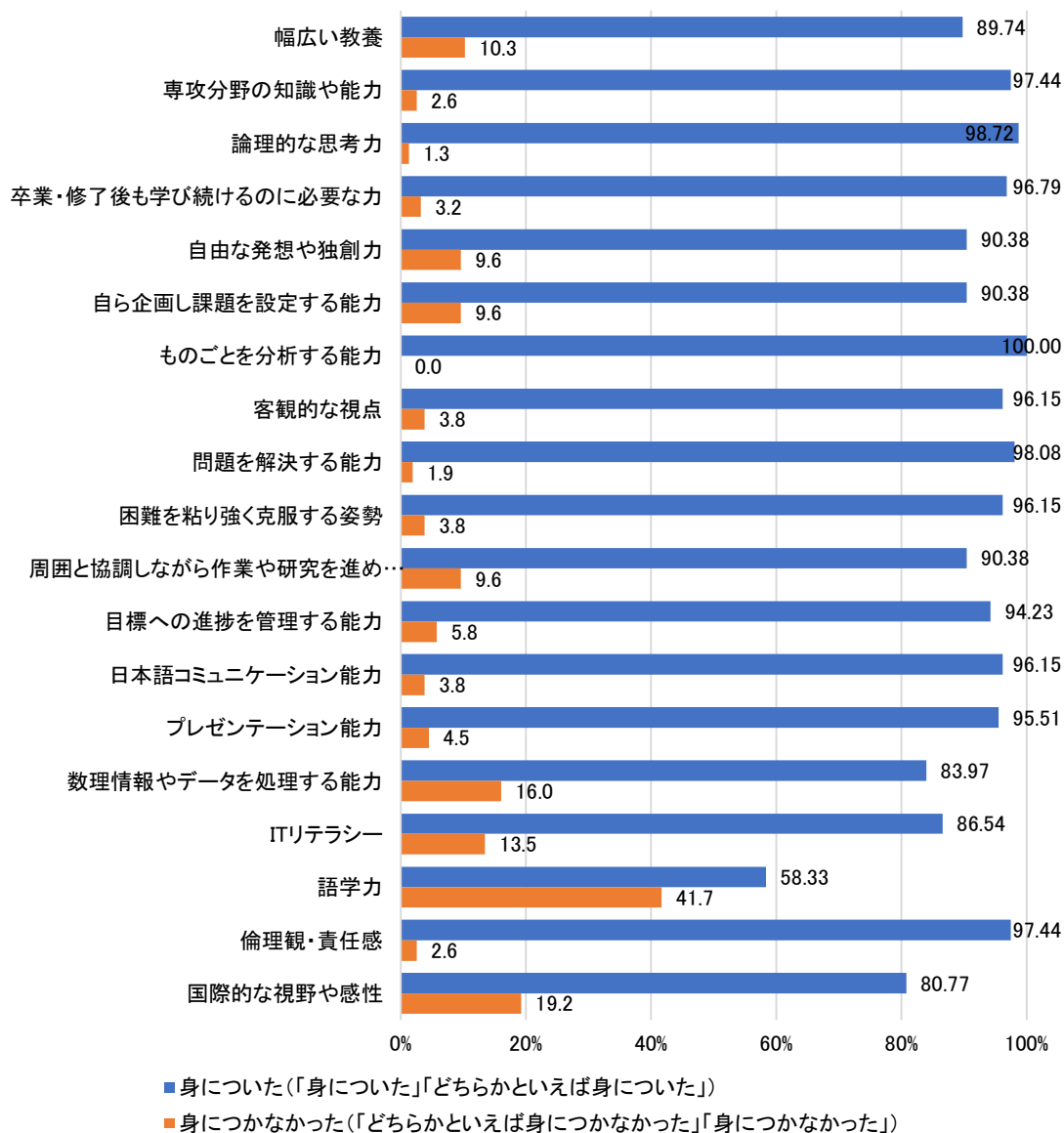


Ⅱ-2 能力、姿勢、態度

- ・「ものごとを分析する能力」では、100%の学生が身についたと回答しており、特に高い結果となった。
- ・一方、4割を超える学生が「語学力」が身につかなかったと回答している。

図11 以下の能力や姿勢について、埼玉大学での学びを通じてどう感じているか、選択してください。

【回答の割合】



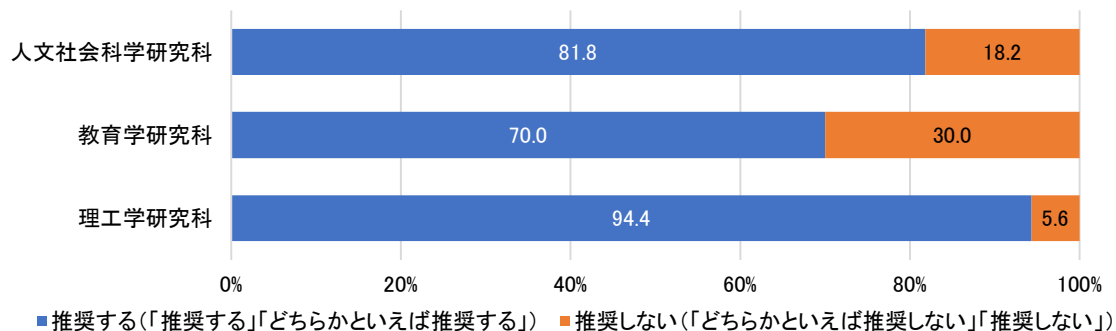
※ 回答の割合は、選択した回答数／全体の回答数で計算した。

Ⅱ-3 本学の推奨度

- ・ 図12では、本学の推奨度は、全ての課程で「推奨する」と回答した学生は7割以上となっている。
- ・ 昨年度「推奨する」と回答した学生の割合は、人文社会科学部で95.5%、教育学部で100%であり、大幅な低下となっている。

図12 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

【推奨度】

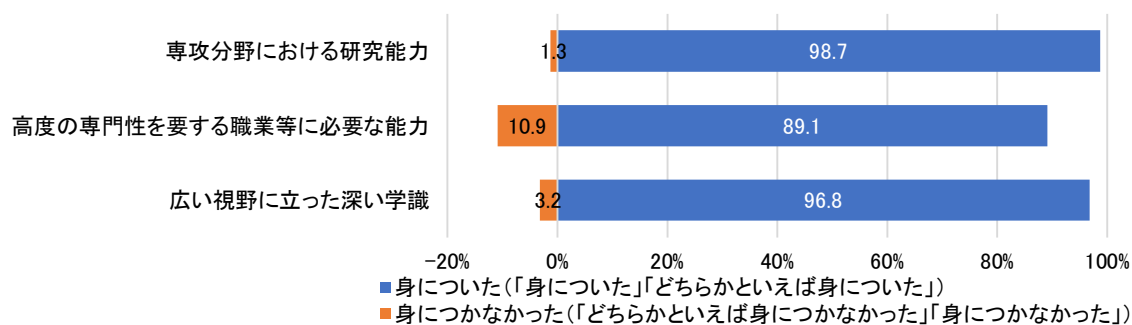


※ 割合は、選択した回答数／区分ごとの総回答数で計算した

Ⅱ-4 大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

- ・ 図13では、「高度の専門性を要する職業等に必要能力」についてのみ「身についた」の割合が9割を下回る結果となった。

図13 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】



※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

・表3では、3つ全ての項目で相関がある。

表3 大学全体の DP に関連する項目の相関

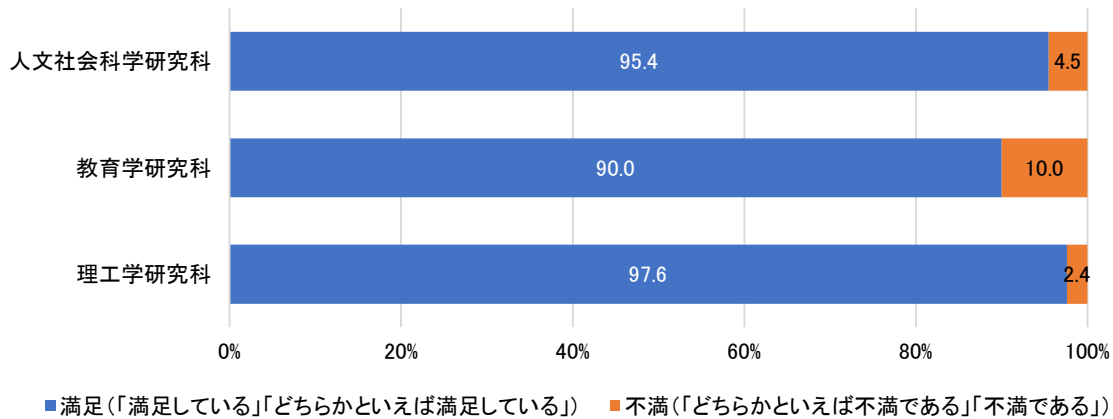
	専攻分野における研究能力	高度の専門性を要する職業等に必要能力	広い視野に立った深い学識
専攻分野における研究能力			
高度の専門性を要する職業等に必要能力	0.61		
広い視野に立った深い学識	0.49	0.50	

■ 0.9以上 非常に強い相関 ■ 0.7~0.9未満 強い相関 ■ 0.5~0.7未満 相関がある ■ 0.3~0.5未満 非常に弱い相関 ■ 0.3未満 ほぼ無関係

Ⅱ-5 教育に関する総合満足度

・図14では、全ての課程で9割以上の学生が「満足」と回答している。

図14 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】



調査実施方法(大学院博士後期課程)

- アンケート実施時期 : 2026年3月11日～2026年3月31日
- 2026年3月修了者数 : 22人(論文提出による博士号取得者を除く)
- 有効回収数 : 15票
- 回収率 : 68.2%(回収率は、有効回収数/3月修了者数で計算した)

※本アンケートは、Microsoft Forms により回答を収集した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

Ⅲ 大学院全体(博士後期課程)

Ⅲ-1 回答者の特性

- ・ 大学院博士後期課程は修了者及び回答者数が少ないため、1人あたりの回答が占める割合が高くなることに留意が必要である。
- ・ 図16では、課程別回収率は、人文社会科学研究科が70.0%、理工学研究科が20%となっている。

図15 修了者・回答者の課程別割合

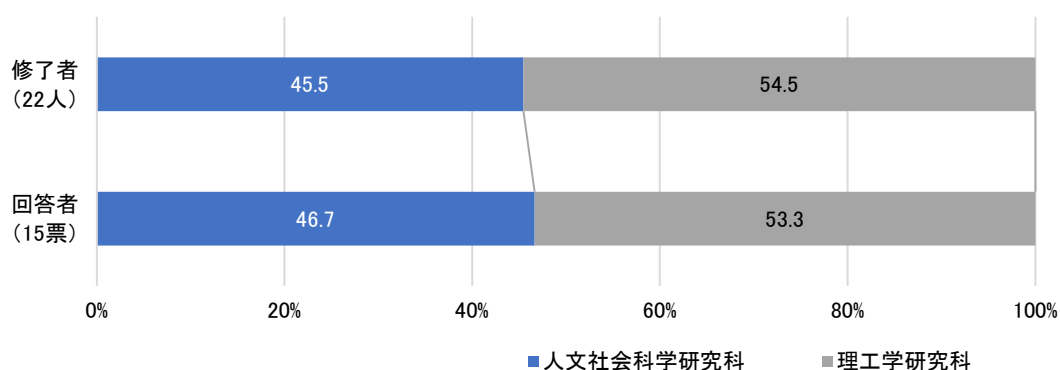
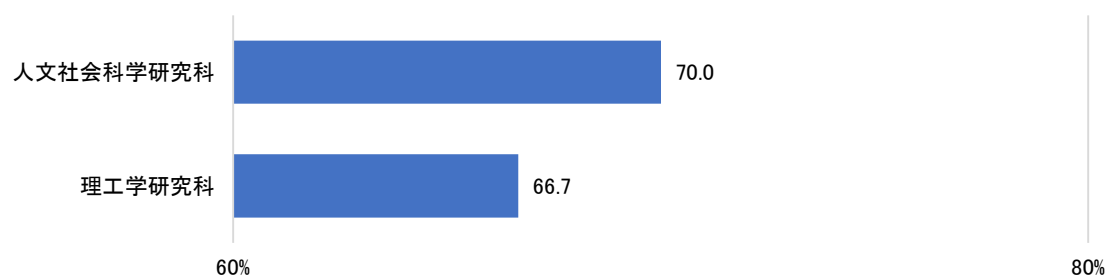


図16 課程別回収率

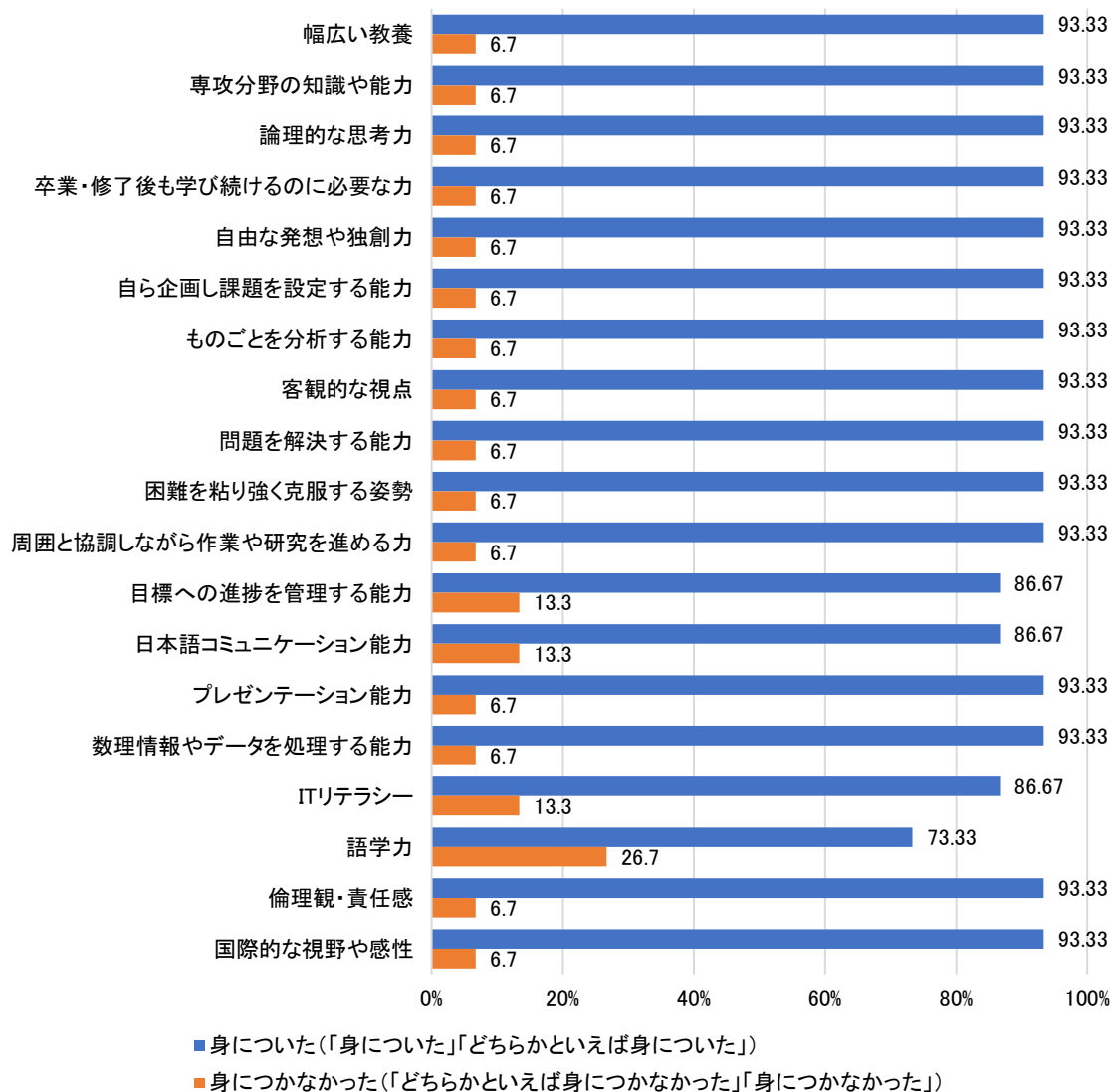


Ⅲ-2 能力、姿勢、態度

・「語学力」においては身につかなかったと回答した割合が2割を超える結果となった。

図17 以下の能力や姿勢について、埼玉大学での学びを通じてどう感じているか、選択してください。

【回答の割合】



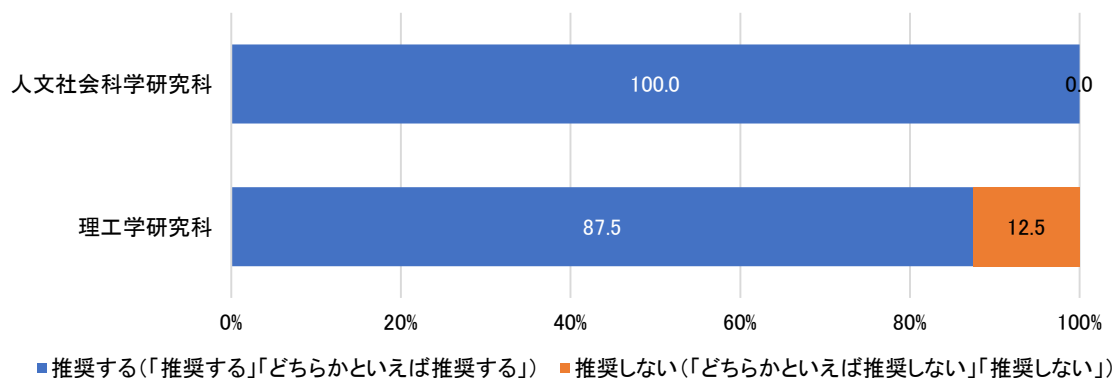
※ 回答の割合は、選択した回答数／全体の回答数で計算した。

Ⅲ-3 本学の推奨度

・ 図18では、人文社会科学研究科においては全修了生が「推奨する」と回答した。

図18 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

【推奨度】

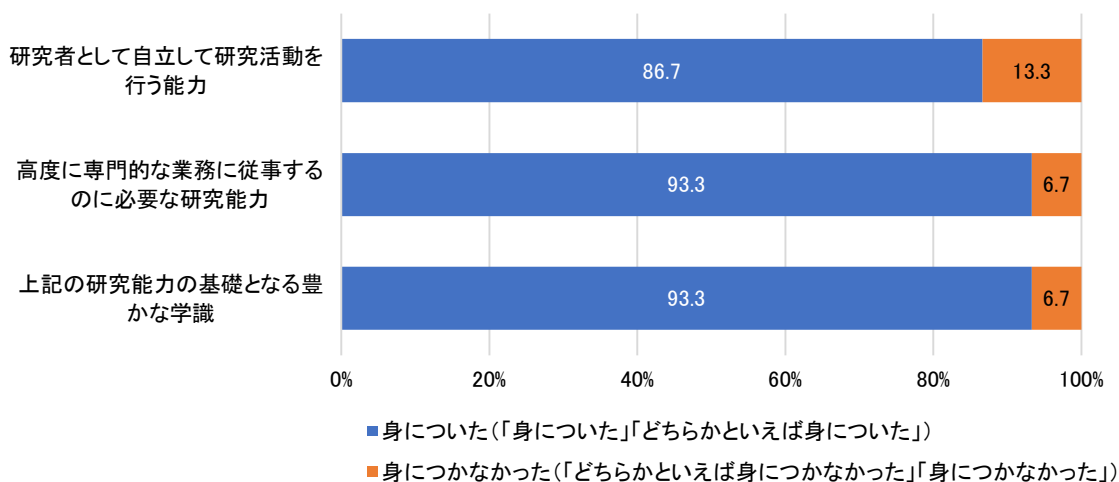


※ 割合は、選択した回答数/区分ごとの総回答数で計算した

Ⅲ-4 大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

・ 図19では、「高度に専門的な業務に従事するのに必要な研究能力」「上記の研究能力の基礎となる豊かな学識」について、9割以上の学生が「身についた」と回答している。

図19 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】



・ ※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。表4では、3つ全ての項目で相関がある。

表 4 大学全体の DP に関連する項目の相関

	高度に専門的な業務に従事するのに必要な研究能力	研究者として自立して研究活動を行う能力	上記の研究能力の基礎となる豊かな学識
高度に専門的な業務に従事するのに必要な研究能力			
研究者として自立して研究活動を行う能力	0.86		
上記の研究能力の基礎となる豊かな学識	0.85	0.91	

■ 0.9以上 非常に強い相関 ■ 0.7~0.9未満 強い相関 ■ 0.5~0.7未満 相関がある ■ 0.3~0.5未満 非常に弱い相関 ■ 0.3未満 ほぼ無関係

Ⅲ-5 教育に関する総合満足度

・ 図20では、人文社会科学研究科においては全修了生が「満足している」と回答した。

図20 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】

